

葛飾区略年表

※ 区立小・中学校の沿革は、P.376～379に記載した。葛飾区立や葛飾区などは原則として省略した。
株式会社などの法人格は原則として省略した。

時代	年代	葛飾区関連事項	参考事項	
旧石器	約13万年前	関東平野は広く浅い古東京湾となる	海水面が概ね現在の高さになる(約2000年前) ヤマト政権の統一が進む(4世紀) 厩戸王(聖徳太子)が摂政になる(593年) 改新の詔が出される(646年) 大宝律令完成(701年) 平城京に遷都(710年) 平安京に遷都(794年) 遣唐使停止(894年) 平将門の乱(939～940年) 藤原道長が摂政になる(1016年) 平清盛が太政大臣となる(1167年) 壇ノ浦の戦い(1185年) 源頼朝が征夷大将軍となる(1192年) 承久の乱(1221年) 鎌倉幕府滅亡(1333年) 足利尊氏が征夷大将軍となる(1338年) 南北朝が統一(1392年)	
	約2万年前	最終氷期の極寒期で東京湾は台地となる		
縄文	約6000年前	縄文海進により奥東京湾が形成される		
弥生	約2000年前	河川の堆積作用で葛飾付近が陸化する		
古墳	3世紀後半～4世紀頃	青戸に集落が形成される		
	6世紀	柴又・奥戸などに集落が形成される		
	6世紀後半	柴又八幡神社古墳・南蔵院裏古墳がつくられる		
奈良	養老5	721年		「下総国葛飾郡大嶋郷戸籍」が作成される
	宝亀2	771年		武蔵国が東海道に編入
	8世紀後半			『万葉集』に「葛鹿・勝牡鹿・可豆思可」の記載がある
平安	承和2	835年	太日川(現江戸川)の渡河舟を2艘から4艘に増やす	
	治承元	1177年頃	豊島清元が下総国葛飾郡葛西地域を治める	
	治承元～4	1177～1180年	葛西清重が父の豊島清元が治めていた下総国葛飾郡葛西地域を継承する	
	建久3	1193年頃	下総国葛飾郡南部に葛西御厨が成立	
	鎌倉	嘉禄3	1227年頃	葛西清重が没する
室町(南北朝)				
室町	応永5	1398年	「葛西御厨田数注文」が作成される。葛飾区域には16の郷村がある	

時代	年代	葛飾区関連事項	参考事項	
室町	享徳3	1454年頃	享徳の乱(1454～1482年)の影響で葛西城が築城される	応仁の乱(1467～1477年) 種子島に鉄砲が伝来(1543年) フランシスコ・ザビエルがキリスト教を伝える(1549年) 桶狭間の戦い(1560年) 室町幕府滅亡(1573年) 羽柴秀吉が関白となる(1585年) 豊臣秀吉が小田原征伐・奥州平定により天下統一(1590年) 徳川家康が江戸城に入る(1590年) 関ヶ原の戦い(1600年) 徳川家康が征夷大将軍となり、江戸幕府を開く(1603年) 武家諸法度を改め、参勤交代制度を確立(1635年) 徳川吉宗が8代将軍となる(1716年) アメリカ独立宣言(1776年) フランス革命(1789年) ペリーが浦賀に来航(1853年) 大政奉還(1867年) 江戸を東京に改称(1868年) 東京遷都(1869年) 版籍奉還(1869年) 廃藩置県(1871年)
	康正3	1457年	太田道灌が江戸城を築城する	
室町(戦国)	天文7	1538年	北条氏綱が葛西城を攻め落とす 北条氏綱が足利義明及び里見義堯を国府台で破る(第1次国府台合戦)	
	永禄2	1559年	「小田原衆所領役帳」が作成される。葛飾区域には15の地名がある	
	永禄3	1560年	上杉氏が葛西城を攻め落とす	
	永禄5	1562年	北条氏が葛西城を奪い返す	
	永禄7	1564年	北条氏康が里見義弘を国府台で破る(第2次国府台合戦)	
	この頃	葛西新宿が整備される		
安土桃山	天正18	1590年	香取宮(現葛西神社)に10万石の朱印が与えられる 豊臣軍が葛西城を攻め落とす	
		1600年頃	金町松戸関所が設置される	
	江戸時代初期		葛西城の跡地が青戸御殿となる	
江戸		1610年代	葛飾区域が下総国から武蔵国に編入し、武蔵国葛飾郡に属する	
	正保2	1645年	「武蔵田園簿」が作成される。葛飾区域には30の町村名がある	
	享保14	1729年	小合溜井(現水元小合溜)がつくられる	
	享保年間	1716～1736年	葛西囃子が香取神社(現葛西神社)の神官、能勢環により始められる	
	元文元	1736年	伊奈氏の下屋敷内に小菅御殿が設けられる	
	寛政6	1794年	小菅御殿が廃止となる	
	嘉永2	1849年	将軍の鹿狩りのために江戸川に船橋が架けられる	
	江戸時代末期		小高園・武蔵園が観光花菖蒲園として開園	
明治	明治2	1869年	葛飾区域は小菅県に属する。県庁舎を小菅に設置 金町松戸関所が廃止となる	
			小菅県立仮学校開校	
	明治4	1871年	小菅県が廃止され、葛飾区域は東京府に属する	

時代	年代		葛飾区関連事項	参考事項
明治	明治5	1872年	「大区小区制」の施行により、葛飾区域は第6大区の10～14小区に属する	国立銀行条例公布（1872年）
			旧小菅県庁跡地にレンガ工場設立	徴兵令公布（1873年）
	明治6	1873年	「旧高田領」が作成される。葛飾区域には39の町村がある	地租改正条例公布（1873年）
	明治11	1878年	「郡区町村編制法」の施行により、葛飾区域は東京府南葛飾郡に属する	西南戦争（1877年）
	明治12	1879年	内務省直轄の東京集治監を小菅に創設	
	明治17	1884年	中川橋（木橋）架橋	
	明治20	1887年頃	吉野園開園	
			金町煉瓦株式会社設立	大日本帝国憲法発布（1889年）
	明治22	1889年	「市制町村制」の施行により、それまでの村を統合し、葛飾区域は水元村・金町村・新宿町・奥戸村・亀青村・南綾瀬村・立石村の7カ町村となる	第1回帝国議会開会（1890年）
	明治27	1894年	総武鉄道（現総武線）の本所（現錦糸町）～佐倉間開通	日清戦争（1894～1895年）
	明治29	1896年	日本鉄道海岸線（現常磐線）の田端～土浦間開通	
	明治30	1897年	亀有駅開業	
			総武鉄道（現総武線）、銚子まで延長	
			金町駅開業	
	明治32	1899年	金町～柴又帝釈天間に帝釈人車鉄道開通	東京市役所開庁（1898年）
	明治時代後期		堀切園開園	
	明治36	1903年	東京集治監が小菅監獄となる	日露戦争（1904～1905年）
	明治43	1910年	洪水により南葛飾郡の約7割が浸水する	韓国併合（1910年）
明治44	1911年	葛飾橋（木橋）架橋		
		荒川放水路事業に着手		
明治時代末期		観花園開園		
大正	大正元	1912年	京成電気軌道（現京成電鉄）の曲金（現京成高砂）～柴又間、押上～伊予田（現江戸川）間開通。四ツ木、立石（現京成立石）、曲金、柴又駅開業	
			荒川放水路開削工事着工	
	大正2	1913年	京成電気軌道の金町（現京成金町）～柴又間開通	
			千種セルロイド四ツ木工場設立	
大正3	1914年	奥戸橋（木橋）架橋	日本、第一次世界大戦に参戦（1914年）	
		三菱製紙中川工場設立	ロシア二月革命（1917年）	

時代	年代		葛飾区関連事項	参考事項	
大正	大正7	1918年	江戸川バリウム工業所（後の三菱ガス化学）設立	ロシア十月革命（1917年）	
			関口友吉が奥戸村（現西新小岩）でセルロイド玩具の加工業を始める（現セキグチ）	シベリア出兵（1918年）	
			日本紙業亀有工場（当時は日本紙器製造）設立		
	大正9	1920年	第1回国勢調査実施（葛飾区域は、人口2万7661人、4872世帯）	朝鮮で三・一独立運動（1919年）	
			千種セルロイド四ツ木工場廃業	中国で五・四運動（1919年）	
	大正11	1922年	小菅監獄を小菅刑務所に改める	国際連盟発足（1920年）	
			四ツ木橋（木橋）架橋		
	大正12	1923年	関東大震災発生（葛飾区域では家屋全壊の被害などがある）		
			上平井橋（木橋）架橋		
	大正13	1924年	富山玩具製作所（後のトミー、現タカラトミー）設立		
			堀切橋（木橋）架橋		
	大正15	1926年	新小岩信号所～金町に貨物線開通	治安維持法公布（1925年）	
			金町に浄水場設立	普通選挙法公布（1925年）	
	昭和	昭和2	1927年	葛飾橋（鉄橋）架橋	
		昭和3	1928年	新小岩駅開業	初の男子普通選挙（1928年）
青砥駅開業					
昭和5		1930年	荒川放水路の開削工事完了		
昭和6		1931年	京成電気軌道の日暮里～青砥間開通。堀切菖蒲園駅・お花茶屋駅開業	柳条湖事件（満州事変）（1931年）	
昭和7		1932年	本奥戸橋架橋	上海事変（1932年）	
			高砂橋架橋	五・一五事件（1932年）	
			葛飾区が誕生、東京市葛飾区となる（当時の人口8万9919人）		
			葛飾区役所の庁舎を旧本田町役場庁舎に設置（現立石1丁目）		
昭和8		1933年	第1回葛飾区議会開催		
			東京市清掃局綾瀬作業所設立（小菅町）	日本、国際連盟を脱退（1933年）	
昭和10		1935年	金町浄水場から葛飾区内への給水開始		
	中川大橋架橋				
昭和12	1937年	都立本所工業高等学校が東京市立本所区工業学校として開校			
		葛飾区役所新庁舎落成（現立石6丁目）	二・二六事件（1936年）		
		日立製作所亀有工場設立	日中戦争が始まる（1937年）		

時代	年代	葛飾区関連事項	参考事項	
昭和	昭和 12	1937 年	東洋インキ製造青戸工場設立	第二次世界大戦が始まる (1939 年)
	昭和 15	1940 年	都立葛飾野高等学校が東京府立第 17 中学校として開校	日独伊三国同盟成立 (1940 年)
			都立南葛飾高等学校が東京府立第 16 高等女学校として開校	太平洋戦争 (1941 ~ 1945 年)
	昭和 17	1942 年	空襲により水元国民学校の生徒が死亡	ミッドウェー海戦 (1942 年)
			共栄学園中学校・高等学校が共栄女子商業学校として開校	
	昭和 18	1943 年	都制実施により東京市葛飾区が東京都葛飾区になる	
	昭和 19	1944 年	葛飾区保健所開設	
			葛飾区児童の学童集団疎開開始	東京大空襲 (1945 年)
	昭和 20	1945 年	空襲により葛飾区役所庁舎が焼失	広島・長崎に原子爆弾投下 (1945 年)
	昭和 21	1946 年	豊島区西巣鴨の東京拘置所が小菅に移転。小菅刑務所と併設	終戦 (1945 年)
				国際連合発足 (1945 年)
	昭和 22	1947 年	第 1 ~ 第 10 出張所、第 1 ~ 第 4 支所開設	日本国憲法公布 (1946 年)
			平和橋 (木橋) 架橋	教育基本法・学校教育法公布 (1947 年)
			カスリーン台風による水害で葛飾区全域が浸水	
	昭和 23	1948 年	葛飾区役所庁舎竣工	
			都立葛飾商業高等学校 (定時制) が葛飾新制高等学校新宿分校として開校	
			都立農産高等学校が都立農芸新制高等学校下千葉分校として開校	
	昭和 24	1949 年	葛飾区立図書館開館	
			修徳中学校・修徳高等学校が葛飾区青戸町へ移転	キティ台風関東上陸 (1949 年)
	昭和 25	1950 年	青戸平和公園開園	朝鮮戦争 (1950 ~ 1953 年)
昭和 26	1951 年	葛飾区歌・区の紋章が決定	サンフランシスコ平和条約、日米安全保障条約調印 (1951 年)	
昭和 27	1952 年	渋江公園開園		
		四ツ木橋架橋	奄美群島日本復帰 (1953 年)	
昭和 30	1955 年	清水幸太郎 (長板中形)、小宮康助 (江戸小紋) が重要無形文化財保持者 (人間国宝) に認定		
		飯塚橋架橋		
		本田宝木塚町 (現宝町) に佐藤ビニール工業所 (後のタカラ、現タカラトミー) 設立	日ソ共同宣言 (1956 年)	
昭和 31	1956 年	日本住宅公団青戸団地完成	日本、国際連合加盟 (1956 年)	

時代	年代	葛飾区関連事項	参考事項	
昭和	昭和 32	1957 年	葛飾区自治町会連合会結成	
	昭和 33	1958 年	東京拘置所が豊島区西巣鴨に移転	東京タワー完成 (1958 年)
			葛飾区公会堂開設	日米新安全保障条約調印 (1960 年)
	昭和 35	1960 年	平和橋 (鉄橋) 架橋	
	昭和 37	1962 年	都立葛飾盲学校開校	
			都立葛飾商業高等学校 (全日制) 開校	
			葛飾区役所本庁舎 (本館) 竣工	
			葛飾区議会議事堂竣工	東京都の人口 1000 万人突破 (1962 年)
	昭和 38	1963 年	新中川 (中川放水路) の開削工事完了	
	昭和 39	1964 年	葛飾清掃工場開設	東海道新幹線開通 (1964 年)
	昭和 40	1965 年	水元公園開園	東京オリンピック開催 (1964 年)
			新葛飾橋架橋	日韓基本条約調印 (1965 年)
			上平井橋 (鉄橋) 架橋	
			総合区民センター体育館開館	
	昭和 42	1967 年	高砂北公園開園	
			平井大橋架橋	
			堀切橋架橋	
	昭和 43	1968 年	葛飾メッキ工場アパート完成	
			上千葉砂原公園開園	小笠原諸島日本復帰 (1968 年)
			北沼公園開園	
昭和 44	1969 年	新宿交通公園開園		
		映画『男はつらいよ』第 1 作公開		
		木根川橋架橋		
昭和 46	1971 年	総合区民センター区民会館開設	日本万国博覧会 (大阪万博) 開催 (1970 年)	
		東京拘置所が現在地へ移転		
		「葛飾区総合開発計画」策定	札幌オリンピック開催 (1972 年)	
		区の花 (花しょうぶ)・区の木 (しだれやなぎ) 決定	沖縄日本復帰 (1972 年)	
昭和 48	1973 年	新四ツ木橋架橋	日中共同声明 (1972 年)	
		小菅処理場 (現小菅水再生センター) 一部稼働。下水道工事開始	円の変動為替相場制移行を実施 (1973 年)	
		葛飾区全域に金町浄水場からの給水が及ぶ	第一次石油危機 (1973 年)	

時代	年代	葛飾区関連事項	参考事項		
昭和	昭和 49	1974 年	都立水元高校開校		
	昭和 50	1975 年	堀切菖蒲園が区立公園として開園		
	昭和 51	1976 年	漫画『こちら葛飾区亀有公園前派出所』が『週刊少年ジャンプ』で連載開始		日中平和友好条約調印（1978 年） 東京サミット開催（1979 年） 第二次石油危機（1979 年） 国際科学技術博覧会（つくば'85）開催（1985 年） 東京サミット開催（1986 年） 国鉄が分割民営化（JR 誕生）（1987 年）
			葛飾区民大運動会（現かつしかスポーツフェスティバル）初開催 都立水元特別支援学校が都立水元養護学校として開校		
	昭和 52	1977 年	中川左岸緑道公園開園		
	昭和 53	1978 年	小宮康孝（江戸小紋）が重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定		
			中川右岸緑道公園開園		
			葛飾区役所本庁舎（新館）竣工 水元中央公園開園		
	昭和 54	1979 年	水元体育館・温水プール開館		
			「葛飾区基本構想」策定		
	昭和 55	1980 年	「葛飾区基本計画（第 1 次）（昭和 55 年度～昭和 60 年度）」策定		
			都立葛飾特別支援学校が都立水元養護学校内に高等部の単独校として開校		
	昭和 56	1981 年	葛飾大橋架橋		
			漫画『キャプテン翼』が『週刊少年ジャンプ』で連載開始		
	昭和 58	1983 年	小菅西公園開園		
			「覚せい剤撲滅区宣言」を行う		
			「葛飾区非核平和都市宣言」を行う		
	昭和 59	1984 年	総合スポーツセンター体育館開館		
	昭和 60	1985 年	新小岩公園開園		
			総合スポーツセンター陸上競技場開設		
			第 1 回葛飾区産業展（現産業フェア）開催		
	昭和 61	1986 年	「葛飾区基本計画（第 2 次）（昭和 61 年度～昭和 66 年度）」策定		
	昭和 62	1987 年	荒川小菅緑地公園開園		
			かつしかハーブ橋開通		
オーストリアウィーン市フロリズドルフ区と友好都市締結を宣言。友好都市となる					

時代	年代	葛飾区関連事項	参考事項	
昭和	昭和 63	1988 年	小菅東スポーツ公園開園	青函トンネル開通（1988 年）
			地域産業振興会館（テクノプラザかつしか）開館	瀬戸大橋開通（1988 年）
平成	平成元	1989 年	区のコミュニケーションマークを決定	消費税導入（3%）（1989 年）
			女性センター（現男女平等推進センター〔ウイメンズパル〕）開館	ベルリンの壁崩壊（1989 年）
			消費生活センター開館	
	平成 2	1990 年	「葛飾区基本構想」策定	東西ドイツ統一（1990 年）
			曳舟川親水公園開園	
	平成 3	1991 年	「葛飾区基本計画（第 3 次）（平成 3 年度～平成 8 年度）」策定	湾岸戦争勃発（1991 年）
			北総線の京成高砂～新鎌ヶ谷間開通。新柴又駅開業	ソビエト連邦崩壊（1991 年）
			柴又公園開園	
			郷土と天文の博物館開館	
			「暴力団追放宣言」を行う	バブル経済崩壊（1991 年）
	平成 4	1992 年	文化会館（かつしかシンフォニーヒルズ）開館	PKO 協力法成立（1992 年）
			中国北京市豊台区と友好交流・協力に関する協定を締結。友好都市となる	EU 発足（1993 年）
	平成 7	1995 年	映画『男はつらいよ』第 48 作（最終作）が公開	阪神・淡路大震災発生（1995 年）
		1995 年度	下水道普及率概成 100%達成	
	平成 8	1996 年	リリオ館など亀有駅南口地区市街地再開発事業関連施設竣工式	
			亀有文化ホール（かめありリリオホール）開館	
渥美清が国民栄誉賞受賞				
平成 9	1997 年	「葛飾区基本計画（平成 9 年度～平成 18 年度）」策定	消費税が 5%になる（1997 年）	
		かつしか FM 開局	京都議定書採択（1997 年）	
平成 10	1998 年	観光文化センター（葛飾柴又寅さん記念館）開館	長野オリンピック開催（1998 年）	
		「ごみのない、きれいで清潔なまち宣言」を行う 葛飾柴又寅さん記念館の名誉館長に監督の山田洋次が就任		
平成 11	1999 年	柴又駅前に「フーテンの寅像」設置	EU で単一通貨「ユーロ」導入（1999 年）	
平成 12	2000 年	葛飾あらかわ水辺公園開園	九州・沖縄サミット開催（2000 年）	
平成 13	2001 年	堀切水辺公園開園	アメリカで同時多発テロ発生（2001 年）	

時代	年代	葛飾区関連事項	参考事項	
平成	平成 14	2002 年	都立葛飾ろう学校開校 日韓共同でサッカーワールドカップ開催（2002 年）	
			わくわくチャレンジ広場事業開始	
	平成 15	2003 年	中学校で学校選択制導入 イラク戦争勃発（2003 年）	
	平成 16	2004 年	小学校で学校選択制導入 新潟県中越地震（2004 年）	
	平成 17	2005 年	東京聖栄大学開学	郵政民営化法成立（2005 年）
			「葛飾区基本計画（平成 18 年度～平成 27 年度）」策定	
	平成 18	2006 年	亀有駅北口に「両津勘吉像」設置	教育基本法の改正成立（2006 年）
			タカラとトミーが合併、タカラトミーとなる	
			区立小学校 49 校で「わくわくチャレンジ広場」を実施	
			亀有駅南口に「両津勘吉祭り姿像」設置	
			葛飾清掃工場建替工事竣工	
	平成 19	2007 年	西水元水辺の公園開園	新潟県中越沖地震（2007 年）
			都立葛飾総合高校開校	
			東京シューレ葛飾中学校開校	
	平成 20	2008 年	東立石緑地公園開園	北海道・洞爺湖サミット開催（2008 年）
			地区センター・集会所・敬老館・社会教育館を統合し、地域コミュニティ施設とする。集会場は集い交流館、敬老館は憩い交流館、社会教育館は学び交流館となる	
			亀有のゆうろーどポケットパーク内に「少年両さん像」設置	
	平成 21	2009 年	再開発ビル「ヴィナシス金町」竣工	裁判員制度開始（2009 年）
			中央図書館開館	
	平成 22	2010 年	亀有駅周辺に「両さん」などの銅像、8 体設置	東日本大震災発生（2011 年）
			かつしか区民大学開学	
			亀有駅北口に「薔薇と麗子像」を設置	
	平成 23	2011 年	毎月 1 回土曜日を「葛飾教育の日」とし、授業を公開	東京スカイツリー開業（2012 年）
			かつしかエコライフプラザ開館	
健康プラザかつしか（保健所・青戸保健センター・子ども総合センターの複合施設）開館				
平成 24	2012 年	亀有駅南口、亀有公園に「両さん」銅像設置	東京スカイツリー開業（2012 年）	
		区制施行 80 周年記念式典を開催		
		小宮康孝、山田洋次、福田千恵、秋本治の 4 名を名誉区民として顕彰		

時代	年代	葛飾区関連事項	参考事項		
平成	平成 24	2012 年	「葛飾区基本計画（平成 25 年度～平成 34 年度）」策定	2020 オリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定（2013 年）	
			山田洋次ミュージアム開館		
	平成 25	2013 年	四つ木つばさ公園開園。公園内に大空翼銅像設置		消費税が 8 % になる（2014 年）
			葛飾にいじゅくみらい公園開園		
			科学教育センター（未来わくわく館）開設		
	平成 26	2014 年	東京理科大学葛飾キャンパス開学		安全保障関連法成立（2015 年）
			四つ木・立石地域に「大空翼」などの銅像、7 体設置		
			葛飾柴又寅さん記念館入館 400 万人突破を記念して、山田洋次ミュージアムに山田洋次胸像を設置		
			かつしかフードフェスタ初開催		
	平成 27	2015 年	第 1 回かつしかふれあい RUN フェスタ開催		熊本地震（2016 年）
			寅さんサミット初開催		
			韓国ソウル特別市麻浦区と姉妹都市提携締結協定を締結。姉妹都市となる		
	平成 28	2016 年	キャプテン翼 CUP 初開催		伊勢・志摩サミット開催（2016 年）
			水元総合スポーツセンター体育館開館		
			西新小岩五丁目公園（モンテッチ公園）開園		
			亀有駅南口に「両さん」などのカラー銅像設置		
		『こちら葛飾区亀有公園前派出所』連載終了	18 歳選挙権施行（2016 年）		